

消費税率引上げ後の消費動向等 について（8月第3週）

平成26年8月22日

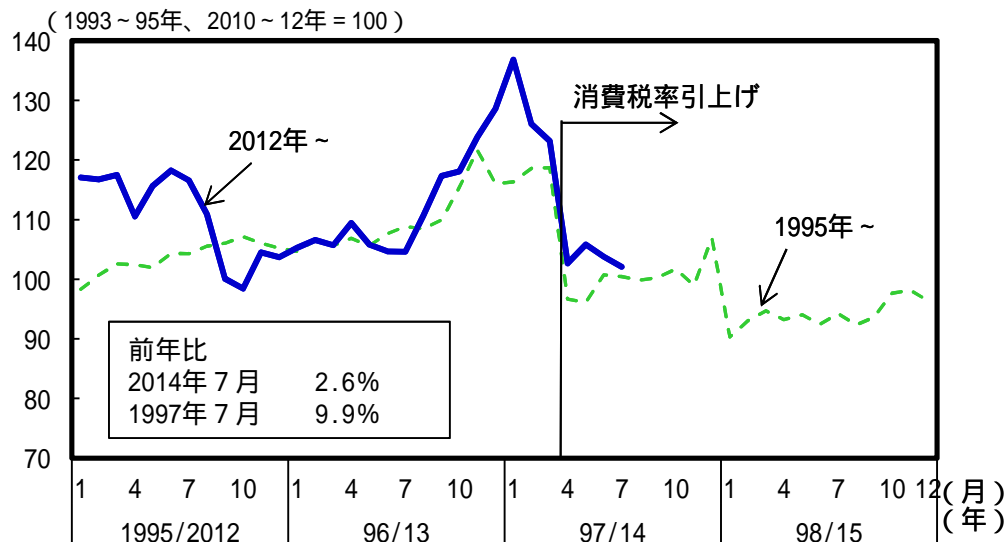
内閣府

自動車・家電販売の動向

自動車販売（除軽、登録ベース）は、7月は前年比でマイナスとなった。

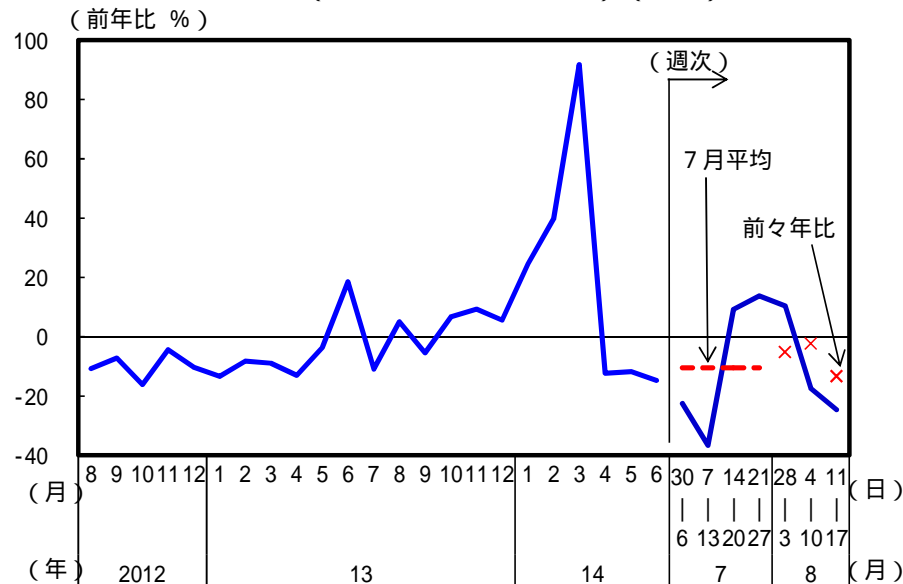
主要5品目の家電販売は、8月第3週では、エアコンを中心として前年比マイナスとなった。なお、前年の影響を排除するため前々年と比較してもマイナスとなっている。

新車販売台数（含軽）



(備考) 1. 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。
2. 内閣府による季節調整値を指数化したもの。

家電販売金額（家電量販店主要5品目）（税抜）



(備考) GfKジャパン（全国の有力家電量販店販売実績を調査・集計）により作成。テレビ、エアコン、冷蔵庫、パソコン、携帯電話の5品目の合計。

自動車販売台数（除軽、登録ベース）は、8月第3週は、前年比でマイナスとなった。昨年が新型車の登場で高めにしていたことも影響しているとみられるが、8月第3週はお盆休みに当たるため登録数が少なく、週単独でみると振れやすい点には注意が必要である。

【業界団体A】

軽自動車販売台数（届出ベース）は、8月第3週は、7月に引き続き前年比でマイナスとなっている。7月以降軽自動車が厳しい要因としては、消費税率引上げの影響に加え、昨年7月以降に新型車が好調であったことの反動もあると考えられる。

【業界団体B】

8月第3週は、エアコンや冷蔵庫が前年比で大きくマイナスに寄与し、全体でもマイナスとなった。いずれも前年の売上が好調だったことが主な要因とみているが、今後の動向も注視していく必要があると考えている。

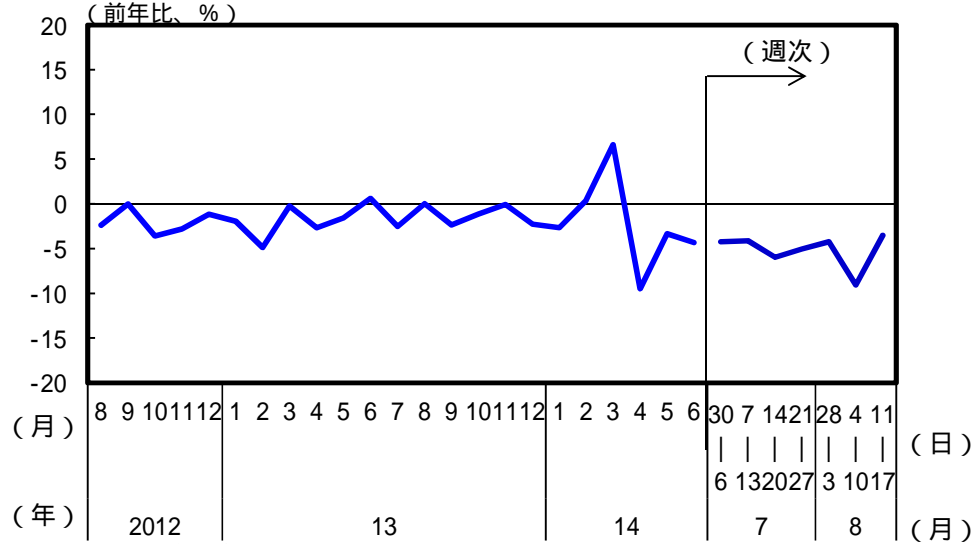
【市場アナリスト】

飲食料品・百貨店・サービス販売の動向

スーパーの売上は、8月第3週は、前年比マイナスとなっている。

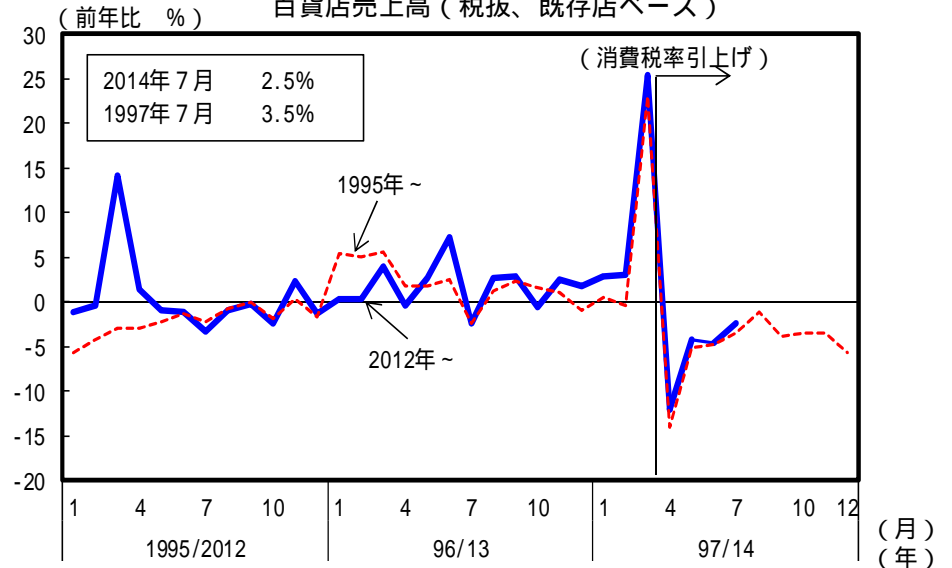
8月第3週の売上は、台風の影響を受けた第2週に比べて前年比が改善した。

飲食料品（除く生鮮食品）販売金額（スーパー）（税抜）



(備考) 1. KSP (全国の食品スーパーマーケット販売実績を調査・集計) により作成。
 2. 加工食品、飲料・酒類、菓子類の3品目の合計。税抜き価格ベース。
 3. 既存店ベースのため、前年比が低めに出る傾向がある。
 4. 7月第4週は、祝日の影響を取り除くため、7月14日~27日の2週間の前年比を算出している。
 また、直近のデータは、速報値。

百貨店売上高（税抜、既存店ベース）



(備考) 日本百貨店協会等により作成。

8月第3週の売上は前年比で微増。特に、惣菜はここ数か月でも好調が続いている。共働きなどで台所に立たない主婦の需要を取り込むため、総菜の品質向上や売り場の改善に向けた改装等、これまで独自に企業努力を行ってきた成果と考えている。 【食品スーパーA】

サービス消費は、旅行については、6月はほぼ前年並みとなった。外食は、天候要因に左右されているものの、底堅く推移。

予約状況については、全体の傾向は先週から大きな変化はみられない。ボーナスの影響もみられ高額商品の売れ行きは好調であるものの、消費者の節約志向もうかがわれ、低価格商品は伸び悩んでいる。 【旅行会社A】

8月第3週の売上前年比は増加。必要と思うところにメリハリをつけて消費を行うという傾向は、全国共通、多くの商品カテゴリーで見られる。特に若者にそうした傾向が強いように思われる。ボーナスの影響はあまり感じない。ボーナスで買うようなもの（宝飾時計など）は、消費税率引上げ前の駆け込みで既に関われてしまったためかもしれない。 【百貨店A】

8月第3週の売上前年比は、台風の影響を受けた第2週に比べて改善。都市部にある主要店舗の方が郊外の店舗よりも相対的に堅調に推移する傾向は、増税前から変わらない。 【百貨店B】